



広報

# せきかわ水系

水土里ネット新潟  
マスコミキャラクター



2011.5.1  
第13号



## 農業用水と水源林・多面的機能の 解説ジオラマが完成

～水源林の恵みを届ける農業用水のしくみが一目瞭然～

農業用水と水源林のかかわりや多面的機能などの重要性を多くの皆さんから知ってもらうため、農業用水水源地域保全対策事業により～水源林の恵みと農業用水のしくみ～関川水系土地改良区ジオラマを製作しました。このジオラマを見ることで、農業用水と水源林のはたらきが、私たちの生活にさまざまな恵みを与えてくれるしくみがわかります。

多くの皆さんに啓発していきたいと考えていますので、興味のある方は21創造運動班までお問い合わせいただくか、直接来所される方はお気軽に窓口職員にお声かけ下さい。

なお、本ジオラマに関する詳しい情報は、以下のURLページでご覧いただけます。

URL <http://www.sekikawasuikei.com/diorama2.html>

見学対応時間：平日 午前8時30分～午後5時

(土・日、年末年始12/29～1/3、祝祭日を除く)

▲解説パンフレット

## Contents もくじ

- 第11回通常総代会理事長挨拶・来賓祝辞 … 2～4
- 経営検討委員会答申ほか …………… 5
- 平成23年度予算概要・業務全体の収支 …… 6～7
- TPP県民シンポジウム・県営事業の実施状況ほか … 8～9
- お知らせ・行事予定ほか …………… 10～11
- 水利用実態調査・事務局組織の再編 …………… 12

土地改良区の概況

- 面積 6,796.2ha
- 組合員 5,661名

〒943-0185 新潟県上越市大字長面 14 番地 1  
 TEL 【総務課】 025-522-5722 FAX 025-522-5724  
 【管理課】 025-522-5723  
 【整備課】 025-522-2447  
 【ダム管理課】 025-524-8800

- 発行：関川水系土地改良区
- 責任者：理事長 瀧澤純一
- 編集：総務課

URL <http://www.sekikawasuikei.com> E-mail [info@sekikawasuikei.com](mailto:info@sekikawasuikei.com)



# 平成22年度 第11回通常総代会開催

## 提出議案18件原案どおり承認・議決！

3月25日、当土地改良区会議室において、上越地域振興局農林振興部関口副部長様のご臨席をいただき、通常総代会が開催されました。

開会に先立ち、東日本大震災の犠牲者に対して全員で黙祷をささげました。続いて、瀧澤理事長のあいさつ後、第11選挙区（三郷地区）の相馬忠雄総代が議長に選任され、平成23年度予算など18件が上程され、慎重審議の結果、原案どおり全会一致で承認・議決されました。



▲議事進行を図る相馬総代（上越市東稲塚新田）

重審議の結果、原案どおり全会一致で承認・議決されました。

## 理事長あいさつ要旨



関川水系土地改良区 理事長 瀧澤 純一

## はじめに

去る3月11日、M9.0という観測史上最大の地震が発生し、さらに巨大津波により未曾有の大災害となつてしまいました。上越地方は震

度4となり、直ちに土地改良施設の点検を命じたところでありました。さらに翌12日には、長野県北部の地震で上越地方も震度5強を記録したため、早朝より職員に緊急招集をかけ、土地改良施設の被害状況の確認・点検を行ったところでありました。管内の主要施設に被害は確認されませんでした。パイプライン等の施設は通水して見ないと状況がわからない部分もあります。総代の皆様から留意していただき、もし不具合等がありましたらご連絡いただければと思います。

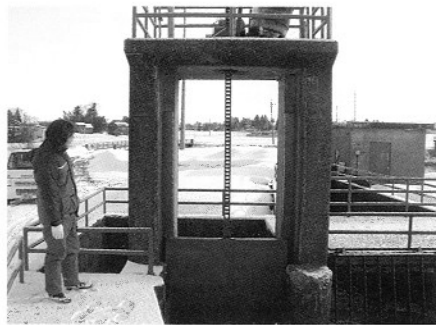
被災された皆様にお見舞いと犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今後、新潟県土連と相談し、少しでも復興に協力できればと考えております。

東北電力(株)においても計画停電を実施の予定で、管内の頭首工などの施設も停電により稼働できなくなる時間が生じることになります。この計画停電が長期化した場合、災害時の排水機場の稼働に支障をきたす恐れもあり、現在、県・市当局とその対応について検討しているところでもあります。通常の通水では大きな混乱はないと思われませんが、地元町内会と連絡を密にして対応していきたいと思っております。

昨年夏の高温、猛暑で稲作への影響も甚大で減収はもとより、品質も一等米比率が17.8%（コシヒカリ

16.2%）と県内でも最下位となり関係機関では原因を究明中であります。そんな異常気象の中でも、かんがい用水の配水は野尻湖と笹ヶ峰ダムからの給水で計画どおり配水することができ、改めて先人先達の偉業に敬意と感謝を申し上げたいと思っております。

土地改良区の使命はその管内の農地並びに農業用施設設備の適正な維持管理とかがい用水の公平で安定した供給、水配だと思っております。そのために皆様方のご協力をいただきながら次のことを重点的に推進してまいります。



▲地震被害の点検を実施（中江幹線用水路別所川余水吐ゲート:3月12日）

## 持続可能な土地改良区構築

### 財政基盤の整備・強化

合併協議の中で5年間は旧土地改良区の慣習を踏襲することで合意されました。しかし毎年、財政調整基金から6千万円を取り崩しての予算編成を余儀なくされてきており、これでは基金が底をついた時、10a当たり千円以上の賦課金の値上げとな

り、到底理解を得られるものではありません。そこで、平成20年5月に経営検討委員会を立ち上げ、検討を重ねてまいりました。経費の削減はもちろんのこと、維持管理の見直しや事務改善、機構改革等を実施し、かなりの効果が現れてきましたが、抜本的な解決には至っておりません。そこで、合併6年目になる平成24年度から、**経常賦課金を300円値上げし3千円とさせていただきます**、今から予備提起させていただきます。そのため平成23年度から当分の間、役員報酬の10%カット、職員給与の昇給遅延や50歳以上昇給停止を実施いたしますので、総代の皆様始め組合員の皆様のご理解をいただきたいと思います。



▲原案に賛成する総代一同（関川水系土地改良区会議室:3月25日）

## 継続中の県営ほ場整備事業の

### 早期完工と土地改良事業の推進

平成22年度当初予算は激減でのスタートとなりましたが、再三の請願を重ねた結果、補正予算がつき、前年を越す20億4千5百万円となり嬉

しく思っております。

合併時10地区あったほ場整備事業が平成22年度までに3地区完工し、残り7地区の早期完工を重点課題として取り組んでまいります。

進捗率を上げるため、平成23年度新規「戦略的作物生産拡大関連基盤緊急整備事業」を利用し、ほ場整備事業の暗渠排水工事に取り組んでいきたいと考えています。

さらに、本年度は、継続中の県営青野池の改修事業や維持管理適正化事業、新規事業として高土地区の団体営ストックマネジメント事業、三田地区の団体営基盤整備事業も予定



▲質問される岸本総代  
(上越市戸野目)

していき  
すので予  
算確保は  
もちろん  
スムーズな  
事業実施  
に努めてま  
います。

### 国営かんがい排水事業

#### 「関川二期地区」の推進

笹ヶ峰ダムは、築造から30年近く経過しているためダム附帯施設及び管理施設設備が老朽化・劣化しており交換部品がない状況にあり早急な改修が課題です。そして笹ヶ峰ダムの施設設備の老朽化対策として、関川二期地区の推進に重点を置いております。

また、平行して、維持管理経費（農家負担）軽減のための小水力発電所の建設についても、研究を重ね早期

実施に向けて推進してまいります。



▲第2回新潟県小水力発電推進協議会  
(新潟県土地改良会館会議室:1月28日)

### TPPと産廃問題について

例外的な関税撤廃で食料・農業・農村を脅かすTPP「環太平洋連携協定」に参加を検討していることについては、他の農林水産団体と歩調を合わせ反対していくこととしています。

また、信濃町赤川地区での産廃廃棄物最終処分場建設計画も中止したとは聞いていないので引き続き関係団体や信濃町と連携して反対していきます。

### おわりに

以上、重点事項をあげましたが、その他各種課題解決のため役員一丸となって取り組む所存ですので、総代の皆様方のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。また本日提案いたしました予算案など慎重審議いただき、原案どおり承認または議決をいただきたくお願い申し上げます。挨拶といたします。



▲川上権現社祭礼  
(妙高市川上公会堂:4月21日)

### 来賓祝辞



上越地域振興局 農林振興部  
農村振興担当副部長  
関口忠雄 様

### はじめに

関川水系土地改良区通常総代会の開催にあたりまして一言お祝い申し上げます。また、当地域振興局が実施しております農業振興並びに農業農村整備事業の推進にご理解とご協力を賜り、この場を借りてお礼申し上げます。こういう機会でありますので、土地改良事業をめぐる情勢についてご説明させていただきます、祝辞とさせていただきます。

### 東北・関東大震災について

3月11日に発生しました東北関東

大震災では、かつて経験したことがないほどの甚大な被害が広範囲に発生しています。

現時点で亡くなられた方、行方が分からない方、併せて2万人を優に超え、また、避難生活を余儀なくされている方は26万人以上に上っています。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともにご家族、ご親戚に対し衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。事態が早期に収束し、被災地域の一日も早い復旧・復興を心より願っています。

### 土地改良事業をめぐる状況について

一昨年の8月に行われた衆議院総選挙の結果、政権交代がなされました。「コンクリート」から「人」への理念のなか、大幅な公共事業の削減が進められ、なかでも土地改良予算が対前年比36・9%と大幅縮減されました。県の22年度予算は、上越農地協議会や関川水系土地改良区の理事長をはじめ役員の皆様のご協力を得て、他の公共事業並の対前年比80%で予算編成を行うことができました。その一方で、国庫補助金の確保が心配されましたが、新たに創設された「農山漁村地域整備交付金」等の確保に努めた結果、ほぼ県予算分の国費は確保でき計画的に事業進捗を図っているとところです。

### 平成22年度予算状況について

今年度、国においては円高に伴う経済危機対策としての予備費の保留

解除や補正予算が組まれました。県として、国費の確保が懸念される状況を踏まえ、国の予算を活用し地域経済の活性化を図るため9月、12月、2月議会と補正予算を組み積極的に予算確保に努めたところです。この結果、貴土地改良区関係では、9月補正で2億4千8百万円、12月補正で2億5千万円、2月補正で1億4千万円の合計6億3千8百万円が追加で割当となつています。当初予算14億7百万円と併せて20億4千5百万円となり前年度最終の109%となります。理事長様を始め役員各位、関係者各位の予算獲得の強い思いが通じたものと受け止めており、各位の諸活動に感謝申し上げます。

#### ほ場整備の進捗状況について

上越地域の水田整備状況ですが、平成21年度現在で74・7%の水田整備率です。県平均が56・1%に対し約18・6ポイント高い状況です。現在、関川水系関係8地区を含む合計12地区で事業実施中の継続地区の平均進捗率が平成22年度末見込みで65%と道半ばの状況にありますので、早期の事業完了が望まれるところであります。特に、面積規模の大きい「中江北部第2地区」の進捗については、「進みが遅い。何時になったら工事するのか」とお叱りをいただいておりますが、今年度は、補正予算を含めて6億8千万円の予算を確保し鋭意事業進捗を図っているところであり、ご理解をお願いいたします。

今後につきましては引き続き厳しい予算状況が予想されますが、振興局としましては引き続き予算確保に積極的に努めるとともに事業の効率的な執行を図り早期の事業完了に努めたいと考えております。

#### 平成23年度予算状況と今後の見通し

国の来年度予算政府案では、従来国の農業農村整備事業2、129億円の農業農村整備事業2、129億円、対前年比100%、その他に新たに創設された「戦略作物生産拡大関連緊急基盤整備事業」、「農地・水保全管理支払い交付金（長寿命化対策分）」の非公共分を併せて2、397億円、対前年比113%が計上されています。その他に「農山漁村地域整備交付金」が318億円、一括交付金（地域自主戦略交付金）が5、120億円計上されております。しかし、平成22年度予算が対前年比36・9%に大幅に縮減されており、縮減前には遠く及ばず低い水準にあり、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況にありますが、本県が全国随一の米の産出県であり日本の主食を支え続けているという誇りと意思を示す意味を込めて、県の来年度予算では県営事業費で約213億7千万円、前年当初比99・2%を2月議会で提案しました。

2月補正を加えた15ヶ月予算として捉えた場合、平成23年度執行分は約237億6千万円となり、対前年当初比110%となっております。

#### ポリ管排水路の変形問題について

平成19年度から平成20年度までの2年間にわたりコスト削減を図るため使用した高密度ポリエチレン波付管（ポリ管）の管排水路において想定以上のたわみ変形が発生し、このことが原因で湛水、排水不良が発生し関係の皆様に変な迷惑をおかけしたことに對しお詫び申し上げます。県としましては、今年度県単独事業での予算計上を行い、ポリ管排水路についてカメラ調査等による確認を行ったところでございます。加えて、第三者委員会「管排水路設計指針等検討委員会」を立ち上げ、変形原因の究明及び対策工法の検討を行ってまいりました。年前の第三者委員会の中間報告では、変形を発生させた主な要因として「基礎構造の対策が大きく影響したこと」、「土質特性として、基礎材に使用した現場発生土は含水比や液性限界値が高く力学的特性が低いこと」、「地下水位が高く締め固めで十分な強度が確保出来なかったこと」などがあげられています。対策工事については、委員会の中間報告に基づき変形に著しい区間について緊急度の高い路線から順次実施する予定であります。今年度分については、県単独事業で既に復旧工事を発注済みです。なお、来年度も復旧工事を引き続き行い、管変形の経過観察も併せて行うこととしております。

#### おわりに

県では、「新潟米」のブランド力強化・米王国新潟の復活の取組を強化することとしています。上越地域は、早くから環境負荷の少ない農業に取り組み消費者の支持を得ていると聞いており、上越地域の大きな強みと認識しています。今後とも新潟県有数の食料基地として、上越の強みを発揮し、消費者の揺るぎない信頼を得て「安全・安心な食料を安定的に提供する」という役割を先頭に立って果たされることを大いに期待いたします。皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いするとともに本日の総代会が建設的な議論を経て貴土地改良区が未来に向けての確かな一歩を踏み出す有意義な会となりますよう祈念いたしまして、お祝いに代えさせていただきます。



▲経営検討委員会の答申を審議する理事会  
(関川水系土地改良区会議室:平成22年11月18日)

### 経営検討委員会の答申

～業務改善等を検証～

経営検討委員会は、土地改良区の財政計画等について見直しを行い「財政の健全性確保」、「適正な組織運営基盤の強化」を図ることを目的に、理事会の諮問機関として設置されています。

昨年度もさまざまな角度・視点で検討・検証を行い、

その答申が平成23年度予算及び業務体制に反映されています。今後も土地改良区の現状と課題を踏まえ、経営改善を推進して持続可能な土地改良区とするため、さまざまな角度・視点で検討・検証を行ってまいります。

平成22年度経営検討委員会の答申は次のとおりです。

### 平成22年度経営検討委員会の答申

(平成22年11月10日・平成22年12月20日 理事会議決)

#### 1 経営改善方針について

早急に業務改善及び見直しが必要な課題は下記のとおり。

職員の配転等による業務改善を行い、適正な組織運営基盤の強化を図ること。

- ① 賦課金未納問題
- ② 土地改良施設の点検と維持管理計画書の作成
- ③ 団体営土地改良事業2地区の実施に伴う業務体制整備
- ④ ほ場整備実施地区減と予算削減に伴う整備課実施体制の見直し

#### 2 経常賦課金の改定について

合併前に検討した財政計画等の見直しを行うことにより、経常賦課金の見直しを行う。

- ・平成24年度より300円/10a値上げする。  
2,700円/10a + 300円/10a = 3,000円/10a

#### 3 経常賦課金増額に当たっての役員報酬及び職員給与に対する措置について

厳しい農家経営の中で組合員に経常賦課金の増額をお願いするに当たり、次の措置を行う。

(平成23年度より実施)

- ・経常賦課金増額に当たり、当分の間役員報酬を1割カットする。
  - ・経常賦課金増額に当たり、当分の間職員の昇給停止
- 現在、55歳以下の職員は年各級2号昇給しているものを年1号とする。  
50歳以上の職員の昇給を当分の間停止する。

#### 4 新規職員採用計画について

平成24年度に新規職員1名を採用する。



▲柵板が崩壊して危険な重川排水路(上越市飯田地内)

本年度は、左記の地区が採択予定となり、地元の皆様は今後の安全・安定な排水を期待を寄せています。

当土地改良区では、施設の機能診断を行い緊急性・危険性が認められる施設から順次、整備・更新を行っています。近年、昭和30～50年代に整備・更新した施設の老朽化が著しく、新たな整備・更新のピークを迎えています。

昨今、土地改良事業費の削減によつて厳しい予算状況となつていますが、できるだけ組合員の要望に応えられるよう、予算確保に努力してまいりますので、地域で整備・更新の要望がありましたら、当土地改良区管理課までお問い合わせ下さい。

**土地改良事業の実施**  
安全・安定的な排水に地元が期待

**国営土地改良事業**  
関川二期地区第3回総会

事業名 団体営基幹水利施設ストックマネジメント事業「高士地区」  
事業名 団体営基盤整備促進事業「三田地区」

今後の対応と課題  
平成24年3月までの全体実施設計移行合意に向けた対応

全体実施設計までのスケジュール(案)		
年	月	内容
23	4	地元推進協議会へ移行(地元)
	12	事業計画骨子作成(国) 農林水産部との施策合意(県)
24	1	地元事業計画骨子説明(国)
	2	知事説明(県)
	3	地元推進協議会総会(地元) (全体実施設計移行合意)
	4	H25財政事前調整(県)
25	9	全体実施設計財務省要求(国) 全体実施設計申請(県)
	3	土地改良事業計画(案)確定(国) 政策調整会議(県) (全計移行報告)
	3	地元推進協議会総会(地元)
	4	全体実施設計事業着手(国)

4月20日、当土地改良区会議室において、国営土地改良事業関川二期地区連絡協議会第3回総会が開催されました。

当日は、顧問の筒井信隆農林水産副大臣(代理)をはじめ上越・妙高地域選出の新潟県議会議員のほか関係者25名の出席により、平成23年度活動計画及び収支予算など4件が上程され、慎重審議の結果、原案どおり全会一致で承認・議決されました。

引き続き、積極的な推進を図っていくことを確認しました。今後の取り組みは、左記のとおりです。

- ① 国営対象から降格する施設と国営幹線用水路の取扱
- ② 工事メニューと概算事業費の早期概定
- ③ 関係市、関係受益者への啓発
- ④ 事業負担金の財政調整





## 平成23年度予算概要

# 持続可能な土地改良区を目指して

一般会計	3億5,668万円
ほ場整備事業特別会計	9億1,520万円
揚水機場維持管理費特別会計	9,627万円

平成23年度関川水系土地改良区の予算は、昨年度に引き続き、経営検討委員会の答申に基づき業務改善を行うとともに、厳しい農業情勢の中、持続的な土地改良区を目指して、報酬・旅費など支出の削減を優先した予算を編成しました。

一般会計予算は、356,681千円となり、前年度比116.9%となりました。年度末で退職となる職員の退職金の計上、団体営事業2地区の実施などにより、予算総額が増額となりました。

ほ場整備事業特別会計は、平成23年度より県土連から受託する換地業務については最小限の業務受託とし、換地更正にかかる業務を主要業務とする予算編成

を行いました。また、3地区で換地清算が予定されていることと集積補助金の繰上償還のため、予算総額が915,203千円となり、前年度比333.8%となりました。

一般会計、ほ場整備事業特別会計ともに、不足財源は、財政調整基金からの繰入金によってまかなう予定ですが、不足財源に充当する繰入金は、51,288千円で前年度比86%となりました。

### 一般会計 356,681千円

#### 収入

(単位：千円)

賦課金	181,405
繰入金	52,688
補助金	49,593
負担金	42,204
繰越金	11,010
使用料及び手数料	10,260
受託収入	8,139
諸収入	1,022
長期借入金	320
財産収入	40
<b>収入合計</b>	<b>356,681千円</b>

#### 支出

(単位：千円)

事務費	168,927
農業農村整備事業費	46,000
積立金	45,415
維持管理費	40,695
負担金及び分担金	31,580
借入金償還金	12,207
維持管理適正化事業費	7,496
予備費	4,000
諸支出金	361
<b>支出合計</b>	<b>356,681千円</b>

### ほ場整備事業特別会計 915,203千円

#### 収入

(単位：千円)

換地清算金収入	316,483
補助金	304,555
賦課金	116,637
長期借入金	109,850
繰入金	40,589
徴収金	19,650
受託事業収入	6,596
繰越金	614
用地費	217
諸収入	11
負担金	1
<b>収入合計</b>	<b>915,203千円</b>

#### 支出

(単位：千円)

借入金償還金	400,832
換地清算金	322,486
分担金	119,350
交付金	19,654
事業調整費	16,723
換地更正費	16,128
繰出金	7,191
受託業務費	6,596
団体営事業費	6,240
予備費	2
積立金	1
<b>支出合計</b>	<b>915,203千円</b>

### 揚水機場維持管理費特別会計 96,273千円

#### 収入

(単位：千円)

賦課金	50,848
繰越金	44,930
繰入金	493
諸収入	2
<b>収入合計</b>	<b>96,273千円</b>

#### 支出

(単位：千円)

維持管理費	50,208
予備費	46,064
繰出金	1
<b>支出合計</b>	<b>96,273千円</b>

### 各種積立金

(単位：千円)

区 分	H22残高	平成23年度中の推移			H23末 残高見込
		繰入収入	利子収入	取崩し	
財政調整基金積立金	495,329	32,614	1,001	▲51,288	477,656
基本財産積立金	380,810	5,000	376	0	386,186
決済金積立金	134,054	2,750	323	▲3,321	133,806
職員退職給与積立金	164,858	14,532	279	▲22,525	157,144
用地費等積立金	105,715	1	79	▲5,853	99,942
事業積立金	275,501	1	617	▲10,324	265,795
合計	1,556,267	54,898	2,675	▲93,311	1,520,529

## 関川水系土地改良区の業務全体の収支

関川水系土地改良区は、幹線用水路の維持管理はじめ、ほ場整備事業の促進、さらにはほ場整備事業で造成された揚水機場などの管理を行っています。これらの業務全体収支がわかるように「一般会計」「ほ場整備事業特別会計」「揚水機場維持管理費特別会計」の予算額を合算し内容別に分類して表示しました。

( )は10a当たりの金額

収 入	支 出
①経常賦課金 1億4,374万円 (2,700円又は1,350円) 土地改良区の運営や維持管理に充てるため、組合員の皆さんから負担してもらうお金 ②特別賦課金 2億452万円 (3,624円) 特定の受益者から負担してもらうお金(事業の借入金返済、事業の農家負担、揚水機場の維持管理費) ③補助金 3億5,415万円 (6,276円) 事業のために国・県・市から支給されるお金 ④事業のための借入金 1億1,017万円 (1,952円) 県営事業などの農家負担に充てるための借入金 ⑤負担金収入 4,220万円 (748円) 他の団体や地元町内などから負担してもらうお金 ⑥繰越金 1,162万円 (206円) 平成22年度の会計で余ったお金 ⑦その他の収入 2,124万円 (376円) その他の収入(ほ場整備事業の一時利用地収益差額を精算するため徴収するお金など) ⑧使用料収入 996万円 (177円) 用水路などを農業用以外の目的で使用する人が負担するお金 ⑨受託収入 1,474万円 (261円) 事業などの関係で、土地改良区が他の団体から仕事を受けることによって、その対価として入ってくるお金 ⑩換地清算金徴収 3億1,648万円 (5,609円) ほ場整備事業によって工事前の土地に対して換地価値が上昇した人から徴収するお金 ⑪積立金の取り崩し 9,328万円 (1,653円) 不足財源に充当 5,307万円 (941円) 維持管理費に充当 112万円 (20円) 職員退職金に充当 2,253万円 (399円) 換地清算金に充当 582万円 (103円) その他に充当 1,074万円 (190円)	①借入金の返済 4億4,407万円 (7,870円) 事業借入金の元金と利子の支払いにかかるお金 ②土地改良区運営費 1億6,893万円 (2,994円) 土地改良区が行う基本的な業務にかかるお金 ③維持管理費 9,090万円 (1,611円) 土地改良区管内の維持管理にかかるお金 ④ほ場整備事業関係の仕事 5,910万円 (1,047円) 一時利用地収益差額を精算するための交付金やほ場整備事業の促進・換地更正などにかかるお金 ⑤県営事業分担金 1億3,488万円 (2,390円) 県に支払う事業の地元負担金 ⑥土地改良事業費各種補助事業 5,974万円 (1,059円) 土地改良区が行う維持管理適正化事業や各種補助事業の調査や建設のためのお金 ⑦負担金等 1,701万円 (301円) 土地改良区が所属する連合会などの団体へ支払うお金 ⑧積立金 2,098万円 (372円) 土地改良区が将来のために積み立てるお金 ⑨換地清算金 3億2,249万円 (5,715円) ほ場整備事業によって工事前の土地に対して換地価値が低下した人へ支払うお金 ⑩予備費 400万円 (71円) 緊急かつ予想していなかった経費に充てるための財源にする予備的なお金 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         支出に含まれる人件費 1億5,729万円                          (正規職員・臨時職員・派遣職員30名分)                     </div>
<b>収入合計 13億2,210万円 (23,430円)</b>	<b>支出合計 13億2,210万円 (23,430円)</b>

※揚水機場維持管理特別会計の予備費は積立金のため上記合計から除きました。

義援金報告	
この場を借りて厚くお礼申し上げます。	
総代・役員ほか	39,700円
関川水系土地改良区	10,300円
計	50,000円



▲善意の義援金をいただく

皆様のご無事の上りりをお祈り申し上げます。

3月24日から1週間という短い期間ではありましたが、義援金の受付を行いました。特に、総代会の際、多くの総代の皆様から温かい義援金を賜り、来所された方からもご協力をいただきました。皆様からの善意の義援金は、新潟県土連を通じて、岩手・宮城・福島・茨城の県土連に寄付させていただきます。被災地域での土地改良施設の復旧や直接農家の支援に活用させていただきます。

今回の東北地方太平洋沖地震により、未曾有の犠牲者と損害が生じております。また、土地改良関係者・施設にも犠牲や被害が及んでいることから、新潟県土地改良事業団体連合会(三富佳一会長)が県内の土地改良区に対して、義援金の呼びかけを行い、当土地改良区も応じることとなりました。

**東北地方太平洋沖地震**

〜直接農家支援に活用〜

**義援金の御礼**



▲熱い討論を繰り広げたパネリスト  
新潟県民会館大ホール  
(新潟市中央区一番堀通町)



▲会場内が熱気に包まれる  
反対決起集会



▲「断固反対」拳を突き上げる  
参加者

3月7日、環太平洋経済連携協定（TPP）の問題を考える「TPPとわたしたちの食・くらしを考える」県民シンポジウムが、新潟県民会館大ホール（新潟市中央区一番堀通町）で開催されました。県内のJAGグループなどが主催し、農林漁業団体の代表者や生産者ら約1,600人が参加され、当土地改良区からは瀧澤理事長・永井副理事長が参加しました。

当日は、講演やパネルディスカッションを交えて、食料・農業問題の現状とTPP交渉参加が生活に与える影響などさまざまな角度から検証しました。経済評論家の内橋克人氏が「TPP開国論を糺す」と題して、特別講演をされました。TPP問題は農業だけの問題ではなく、雇用など大きな問題を抱えていることを強調され、TPP参加でのメリットを

**TPPとわたしたちの食・くらしを考える**  
**県民シンポジウム・TPP反対決起集会開催**  
**「県内の農林漁業団体・生産者らTPP参加阻止へ結集」**

疑問視するとともに、背景にある米国の国際戦略などを紹介されました。「農業は米以外、開かれ過ぎるほど、市場を開いている」と説明、「TPP問題について国民一人一人が意見を固めてほしい」と呼び掛けました。

シンポジウム終了後、反対決起集会も開催され、農林漁業団体の代表者や生産者らが、交渉参加反対に取り組む特別決議がされました。当日、参加された永井副理事長に感想を聞いてみました。

**「国民全体での議論・運動が早急に必要！」**

副理事長 永井 紘一



TPPについては、「農業対輸出産業」の対立という認識が強

かったわけですが、今回、種々の話を聞かせていただくなかで、特に農業関係におけるアメリカの目的・戦略の一つは、日本への米輸出と言われております。これが実現すると当地域農業は壊滅的な打撃を受けることが明らかであります。

また、農業以外の医療部門では、

**県営事業の実施状況**

**「請願の成果が現れる」**

日本の医療に市場原理主義が持ち込まれることによって、国民皆保険制度の崩壊が懸念されるなど、さまざまな分野に大きな問題をもたらすことを再認識してきました。

TPP関連の情報収集と周知が喫緊の課題であり、国民全体での議論・運動が早急に必要と感じました。

**平成22年度県営事業の実施状況【最終】**

平成23年3月末現在 単位：千円

事業名	地区名	着工年度	完了年度	総事業費	平成21年度まで		平成22年度割当			進捗率
					事業費	進度%	当初割当	補正	計	
ため池等整備(老朽ため池)	青野	21	24	116,300	12,300	10.6%	1,000	38,000	39,000	44.1%
	計			116,300	12,300	10.6%	1,000	38,000	39,000	44.1%
ほ場整備事業	1地区									
	三和西部	10	24	3,530,000	2,521,000	71.4%	130,000		130,000	75.1%
	中江北部第1	10	23	2,651,000	2,546,000	96.0%	60,000		60,000	98.3%
	三和南部	11	27	4,702,000	2,396,000	51.0%	309,000	233,000	542,000	62.5%
	中江北部第2	11	29	8,990,000	4,323,500	48.1%	430,000	250,000	680,000	55.7%
	津有南部第2	11	28	3,618,000	1,868,000	51.6%	120,000	155,000	275,000	59.2%
	津有南部第1	12	28	3,582,000	1,403,900	39.2%	203,000		203,000	44.9%
	高土西部	13	22	748,000	684,900	91.6%	55,000		55,000	98.9%
計	8地区			29,612,000	16,467,700	55.6%	1,407,000	638,000	2,045,000	62.5%
合計	9地区			29,728,300	16,480,000	55.4%	1,408,000	676,000	2,084,000	62.4%

\*1 平成22年度ほ場整備事業補正予算は、9月補正248,000千円、12月補正250,000千円、2月補正140,000千円を合算したものである。  
\*2 ため池等整備事業「青野地区」は、9月補正で39,000千円の割当を受けたが、予算調整で1,000千円減額となった。  
\*3 高土西部地区は平成22年度完了となった。



**21世紀土地改良区創造運動**  
 ～積極的に展開～

3月1日、当土地改良区が取り組む「広報活動」「21創造運動」を研修するため、妻有ぜんまい団（十日町地域の県・市・町・土地改良区の農業農村振興担当職員）15名が来訪されました。

当日は、当土地改良区の広報誌・ホームページ・用水学習等を取り組むなかで「21創造運動班は、依頼された用水学習は断らない」と説明したところ、「各自、業務と両立して依頼された用水学習は断らないスタンスは素晴らしい」と感心されました。

3月7日、上越市社会福祉協議会板倉支所（上越市板倉区針）のボランティアセンター事業で、紙芝居を行っている「のぼらの会」の皆さんを対象に出前授業を実施しました。当日は、上江・中江用水のパンフレットを中心に説明後、紙芝居を行



▲地形模型を見学する妻有ぜんまい団の皆さん  
 関川水系土地改良区ロビー（上越市長画）



▲中江用水の紙芝居を見る「のぼらの会」の皆さん  
 上越市社会福祉協議会板倉支所会議室（上越市板倉区針）

**夏休みの自由研究はこれで決まり!!**

**農業用水水源林現地学習会開催**



どうして上越のお米はおいしいの？

大好評につき、「農業用水水源林現地学習会」を今年も開催します。上越米がなぜおいしいのか？現地で「農業用水と水源林のかかりについて」ふれてみることで、その秘密がわかります。ぜひ、この機会に参加してみませんか？

**7月31日** 予定

- 開催日時** 平成23年7月31日(日) 午前8時開会～午後5時閉会予定
- 集合場所** 関川水系土地改良区
- 対象者** 親子・町内会等団体を優先(先着受付順)
- 参加費** 無料(昼食をご持参下さい)
- その他** 自由研究の題材を用意します

詳細な行程等については後日、町内会を通じて連絡いたします。



いました。参加者は、「先人の偉業のすごさを今の子どもたちに引き継いでいかなければいけない」「紙芝居はきれいなので、わかりやすかった」などの感想を述べられていました。皆さんも興味がありましたら、21創造運動班までお問い合わせ下さい。

**「田んぼダム」**  
 ～洪水緩和機能～

田んぼダムは、水田の排水口に調整板を設置し、水の流出抑制を意図的に図ることで、ダムの役割を果たします。大雨の時に水田内に貯留させることで、排水路への流出時間を調整することができ、下流水路の湛水被害、下流域の洪水を軽減させる効果（洪水緩和機能）があります。この効果をより発揮するために必要ことから、新潟県では積極的に啓発を図っています。興味のある方は、当土地改良区管理課までお問い合わせ下さい。



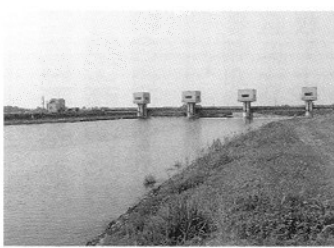
▶先進事例（三和村土地改良区管内のほ場…上越市三和区大西）  
 調整板に排水調整するための穴をあけ、そのまま排水口の溝に設置するだけなので、取り付けは簡単です。

**もしも計画停電になったら**  
 ～対応方針検討へ～

東北地方太平洋沖地震により、東北電力(株)では、発電所や電力供給施設に甚大な被害が生じたことで、電力供給能力が減退しています。これにより、「計画停電」の実施を検討しています。

東北電力(株)では、発電量の増加に取り組んでいるところですが、今後、東北地方における設備の復旧や電力使用量の多い夏季に向けて供給力不足となる可能性があります。

当土地改良区では、水稻生育にとって一番大事な用水供給期と重なる時期であり、頭首工や揚排水機場の多くは、電気による電動式での稼働となっていることから、できるだけ回避したいところですが、都合によっては「計画停電」を実施せざるを得ない状態が危惧されています。これを受けて当土地改良区においてもさまざまな対応を検討していますが、万が一、「計画停電」が実施される場合は、速やかに地元町内会等へ対応方針を連絡させていただきます。



▲計画停電が心配される関川頭首工（妙高市広島）

平成23年度県営ほ場整備事業関係賦課金単価

(10 a 当たり)

地区名	種別	地目	賦課単価
三和西部	ほ場整備事業費	田・畑	3,771
	揚水機場維持管理費	田	1,500
	工事連絡調整費	田・畑	200
上江保倉	換地更正業務費	田・畑	233
	ほ場整備事業費	田	6,705
	揚水機場維持管理費①～④	田	2,000
三和南部	揚水機場維持管理費⑤	田	2,200
	ほ場整備事業費	田	2,515
	ほ場整備事業費	畑	1,510
	揚水機場維持管理費	田	2,000
	工事連絡調整費	田・畑	200
板倉西部	換地更正業務費	田・畑	168
	ほ場整備事業費	田・畑	1,584
	揚水機場維持管理費①	田	1,820
高士西部	揚水機場維持管理費②	田	3,200
	ほ場整備事業費	田・畑	5,047
重川上流	揚水機場維持管理費	田	1,900
	調査費	田・畑	417
	ほ場整備事業費	田	971
	ほ場整備事業費	畑	324
上千原	揚水機場維持管理費	田	2,200
	調査費	田・畑	305
	ほ場整備事業費	田	2,734
	ほ場整備事業費	畑	912
中江北部第1	揚水機場維持管理費	田	2,000
	調査費	田・畑	507
	ほ場整備事業費	田・畑	5,172
	工事連絡調整費	田・畑	200
	換地更正業務費	田・畑	667
中江北部第2	調査費	田・畑	483
	ほ場整備事業費	田・畑	3,651
	揚水機場維持管理費①	田	1,570
	揚水機場維持管理費③	田	3,660
	揚水機場維持管理費⑤(未着工区域)	田	1,830
	揚水機場維持管理費④	田	1,870
	揚水機場維持管理費⑥	田	1,670
	揚水機場維持管理費⑥	田	1,350
津有南部第2	工事連絡調整費	田・畑	200
	換地更正業務費	田・畑	222
	調査費	田・畑	435
	ほ場整備事業費	田・畑	4,291
	揚水機場維持管理費②	田	1,900
津有南部第1	揚水機場維持管理費③	田	1,650
	工事連絡調整費	田・畑	200
	換地更正業務費	田・畑	250
	調査費	田・畑	339
	ほ場整備事業費	田・畑	2,556
保倉中部	揚水機場維持管理費	田	1,900
	工事連絡調整費	田・畑	200
	換地更正業務費	田・畑	250
保倉西部第1	ほ場整備事業費	田・畑	7,481
	揚水機場維持管理費	田	3,700
重川	ほ場整備事業費	田・畑	5,199
	揚水機場維持管理費	田	2,200
東中島	揚水機場維持管理費	田	2,100

平成23年度賦課金について

本年度の賦課金は、平成23年4月1日現在の土地原簿に基づき計算されますので、下記のとおり納入下さいますようお願いいたします。

經常賦課金単価(10a当たり)

一般区域 2,700円 客水・上江上区域 1,350円

納入期限

第1期 平成23年6月30日(木) 經常賦課金 一般区域 50%  
客水・上江上区域 50%

第2期 平成23年10月5日(水) 特別賦課金 事業対象区域 100%  
(日本政策金融公庫償還金)

第3期 平成23年11月15日(火) 經常賦課金 一般区域 50%  
客水・上江上区域 50%

事業事務費賦課金 100% 揚水機場維持管理費賦課金 100%

工事連絡調整費賦課金 100% 換地更正業務費賦課金 100%

土地改良区の經常賦課金は、土地改良区の運営費・維持管理費に充てられます。また、特別賦課金は、土地改良事業の借入金の返済金に充てられます。

一人の未納者があっても土地改良区全体としては公平の原則が維持できなくなります。なお、納期限を過ぎますと過怠金・延滞金(年率14.6%)が加算されますので、ご注意ください。組合員の皆様からご理解をいただき賦課金納入にご協力下さいますようお願いいたします。

※口座振替契約の方は、残高不足の場合、振替ができませんので、期日前に残高確認をお願いします。

未納賦課金の対応について

厳しい農業状況のなかでも、ほとんどの組合員の方から納期限内に賦課金を納入していただいています。その一方で、様々な理由により、未納となっている滞納者や、滞納額が累積し高額となっている滞納者もいるのが現状です。

土地改良区では、負担の公平のため、たび重なる催告にもかかわらず納入いただけない方に対しては、財産の差押え、さらにその財産を公売するなどの滞納処分を行なうことになります。(土地改良法第39条)

【差押え】

差押えの対象となる主なものは、土地・建物・自動車などの不動産等、預貯金・給与・生命保険金などの債権等、手形・小切手などの有価証券などに対して差押えを行ないます。



▲高士西部地区揚水機場敷地内に建立された記念碑(上越市稲)

集落営農組織による農地の集積と農作業の効率化を進めるなかで、農業の担い手と経営体の育成を図ることをしています。

当地区は、竣工までに10年の歳月を費やし地元組合員にとっては、長年の夢がかなうこととなりました。県営ほ場整備事業(担い手育成型)高士西部地区(上越市野尻・稲・上曾根・下曾根・上富川・熊塚)に取り組んできましたが、平成23年3月をもって竣工しました。これを記念して、竣工碑が高士西部地区揚水機場(上越市稲)に建立されました。6月10日に県や市、地元関係者により竣工式が予定されています。

県営ほ場整備事業(担い手育成型)高士西部地区竣工  
地元組合員待望の竣工

事業概要  
事業内容 7億3,990万円  
区画整理工 49.3ha  
暗渠排水工 48.8ha  
1ha区画(長辺190m × 短辺55m)  
パイプかんがい方式ほか  
平成13年度～平成22年度  
※平成23年度換地処分・換地清算あり

事業年度



## 賦課金の納入は口座振替で

当土地改良区では、安全・便利な口座振替契約を推奨していますので、ご希望の方は、**総務課**までお問い合わせ下さい。  
口座振替可能な金融機関は右記のとおりです。

えちご上越農業協同組合 新井信用金庫  
第四銀行 ゆうちよ銀行 上越信用金庫  
※北越銀行は振込手数料がかかりますので、ご注意下さい。

## 忘れていませんか？土地改良区への届け出

～農地の権利移動・組合員資格の変更には届け出を～

農業委員会に届出済、あるいは登記が完了したので、当土地改良区の土地原簿も必然的に訂正されるとお考えの方も多いようですが、**土地改良法第43条第1項の資格得喪の通知義務**により、組合員の皆様からの届出がない限り、**変更前の状態で賦課されることとなりますので、ご注意下さい。**

農地の権利関係に、下記のような移動があった場合は、**総務課**まで必ずお届け下さい。

- 農地の権利移動があったとき（売買、交換、賃貸借等）
- 農業者年金を受給しようとするとき（経営移譲）
- 組合員が亡くなられたとき
- 組合員が住所・口座・名義を変更したとき

※注意 賃貸借等の契約期間満了の場合も届出が必要です。  
・当年3月31日を過ぎての届出は、翌年度からの変更となります。

## 公共事業の転用にも……

- 地区除外申請と決済金が必要！  
当土地改良区管内で公共事業用地（道路、河川等）として、農地を売渡、寄付した場合でも土地改良法第42条第2項により、地区除外申請と決済金の納入が必要です。
- 決済金の負担はどちらが……？  
公共工事の用地買収契約調印の際は、除外申請、転用決済金等の問題も、十分、事業主体と協議し、当土地改良区への申請をお願いします。
- 除外申請後は決済金の納入を！  
地区除外の申請後、決済金を納入いただかないと土地原簿から面積削除できないため、従前どおり賦課されますので、ご注意下さい。

## 浄化槽設置の際は届出を……

- 水路使用申請が必要！  
浄化槽設置の際、排水先が公共下水道に接続されていない場合は、当土地改良区に確認をお願いします。
- その他、手続き等で、ご不明な点がございましたら、管理課までお問い合わせ下さい。

## 不法投棄厳禁！

用排水路やため池にゴミを捨てると通水障害が起こります。また、土地改良区としてもゴミ処理の経費がかかってしまいます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 用水路やため池で遊ぶ子は×



## 水難事故防止にご協力を！

かんがい期を迎え、各用水路やため池は満水の状態となります。毎年、各地で幼児や児童が水難事故に遭う痛ましい事態が発生しています。

当土地改良区でも事故防止対策に努めますが、子供が近くで遊んでいるところを見かけたら、注意を呼びかけるなど、ご協力をお願いいたします。

## 行事予定

月	日	行事内容
5	-	平成23年度ダム管理演習（主催：国土交通省管轄）
	-	営農換地委員会（新道地区）
6	1	野尻湖満水位立会
	-	関川取入式
	-	営農換地委員会（高士西部地区）
	-	維持管理基準策定委員会
	-	笹ヶ峰ダム放流警報パトロール訓練（主催：ダム管理課）
7	20	河波良神社例大祭
	22	小栗美作法要
	30	第1期賦課金納期
	-	第1回監事会（決算監査）
8	-	第1回理事会
	-	維持管理基準策定委員会
	-	関川地区土地改良区連合第1回監事会（決算監査）
	-	関川地区土地改良区連合第1回理事会
	-	営農換地委員会（中江北部第1地区・新道地区）
17	上江北辰神社例大祭	
8	-	第12回臨時総代会
	-	総代研修

月	日	行事内容
8	-	権利者総会（中江北部第1地区・新道地区）
	-	経営体育成基盤整備推進協議会役員会（新道地区）
27		宇賀神社参拝
9	-	芙蓉湖農業水利対策協議会総会
10	5	第2期賦課金納期
	15	第3期賦課金納期
11	-	営農換地委員会（中江北部第1地区・中江北部第2地区・津有南部第2地区・津有南部第1地区・新道地区）
	-	揚水機場運営委員会（中江北部第1地区・中江北部第2地区・津有南部第2地区・津有南部第1地区・三和西部地区・三和南部地区）
	-	維持管理基準策定委員会
	-	第2回理事会
12	-	揚水機場運営委員会（重川地区・東中島地区・重川上流地区・上千原地区・保倉中部地区・上江保倉地区・板倉西部地区・高士西部地区）
	-	関川地区土地改良区連合第2回監事会（中間監査）
	-	第2回監事会（中間監査）
	-	第3回理事会
	-	営農換地委員会（三和西部地区）



### 水利用実態調査に

ご理解とご協力をお願いします

昨年度、河川管理者（国土交通省）による河川工作物立入り検査において、関川から取水する当管内のかんがい用水で、許可権量※を超える不適切な取水管理があったとして指摘され、北陸農政局等関係機関から厳しく改善を求められています。

当土地改良区では、近年の営農形態の変化や急激な気象の変化により、地域の農業用水需要が変化している状況を訴え、現状にあった許可権量を要望したところ、早急に実態調査をするように命じられました。つきましては、緊急ではありませんが、本年度、次のとおり、水利用の実態を把握するため次の調査を行います。皆様にはご不便をおかけする場合がありますが、ご理解とご協力をお願いします。

#### 調査内容

1. 用水需要の実態を把握するため各用水路の要所で流量観測を実施します。
2. 生育期別（代かき・田植・管理等）の取水、作業日の調査
3. 揚水機場・分水路等の配水管理方法の調査

#### ※許可権量

水田1枚当りの土壌別日減水深を受益面積にかけた流量で、水稻の生育期間等から算出した必要取水量を河川管理者に申請し、許可を得た取水量のこと。



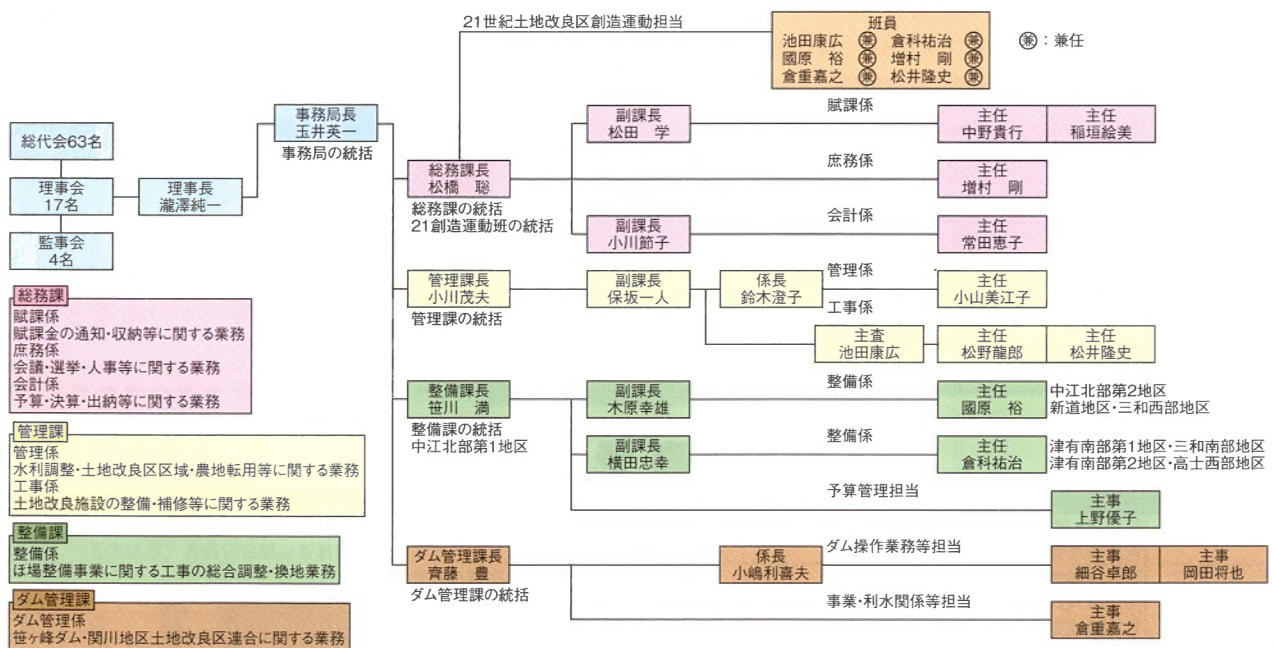
▲水利用実態調査が予定されている中江幹線用水路(上越市板倉区高野)

## 事務局組織の再編

当土地改良区の緊急的課題は「維持管理計画書の作成」と「賦課金未納問題」です。

この対応に向けて、本年度、下記のとおり職員の配置転換を行い、管理係及び賦課係を強化することで、課題解決に取り組みます。

### 平成23年度関川水系土地改良区組織機構図



### 人事異動 4月1日付

#### 異動

総務課 副課長 松田 学 (前：整備課 副課長)  
管理課 主任 松井隆史 (前：整備課 主任)

## 編集後記

広報第13号の内容はどうでしたか。

さて、3月11日、三陸沖を震源に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、津波と火災により多くの被災者が出ています。また、12日の東京電力福島原発の爆発などの発生で避難指示も発令されるなか、今もなお余震が続き被害・避難、さらに安否の確認ができない方がいるなど、各地で甚大な被害を被っています。被災された皆様および、ご家族や知人が被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、多くの亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

もう一度、元気な日本を取り戻すため、一人、一人がどんなに小さくても身近でできることを積み重ねることが、1日も早い復興への近道だと思えます。「がんばろう日本！」

松・増



再生産可能な植物油を原料としたインキを使用しています。FSC™認証は、原材料として使用されている木材が適切に管理された森林に由来することを意味します。